

平成 18 年度 川崎市国際交流センター事業

(平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

■情報収集・提供事業

1 図書・資料室の運営

川崎市国際交流センター図書・資料室の運営において、図書、資料、新聞、雑誌、ビデオなど国際交流関係の図書等の充実を図るとともに、利用者への情報提供を行った。

- 利用時間： 午前 10 時～午後 8 時（開館日）
- 利用対象： 小学校高学年以上
- 利用者数： 14,308 人
- 閲覧件数： 図書等 2,625 件 ビデオ 886 件
- (蔵書数)： 書籍 12,567 冊（和図書 10,538 冊、外国語図書 2,029 冊）
新聞 23 紙、情報誌 174 誌、ビデオテープ 473 巻

2 情報ロビー等の運営

○情報ロビー

川崎市の歴史及び姉妹・友好都市の生活、文化、産業などを情報機器 4 台において紹介した。

○ギャラリー

姉妹・友好都市との提携盟約書及び記念品等を展示するとともに、大型映像により姉妹・友好都市の様子を紹介した。

○各国紹介パネルの展示

在日各国大使館提供のポスターパネルをプロムナードに掲出し、市民の国際理解促進とセンターの施設環境の向上を図った。

○情報ボード（談話ロビー）

国際交流や国際協力に関する情報を中心とした掲示板を設置し、市民への情報提供を行った。

○パンフレットコーナー（談話ロビー）

国際交流関係のイベント情報やセミナー・講座などを紹介するとともに、外国語専用のパンフレットコーナー及び掲示板を設置し、市民への情報提供を行った。

○メッセージボード（談話ロビー）

国際交流に係わる情報を提供し、外国人市民と日本人市民との情報交換を図った。

3 センターホームページの開設等

○ホームページの開設

国際交流センターの専用ホームページを新たに開設し、センター施設の紹介及びセンター事

業の広報、情報提供を行った。また、ホームページの内容の迅速な更新を行った。

- ・センターウェブサイトアクセス件数 19,799件
- ・ホームページの更新(450回)
- ・ホームページアドレス <http://www.kian.or.jp/kic/>

○インターネット用パソコンの設置

インターネット接続のパソコン2台を設置し、市民への情報提供を行った。

- ・利用時間：9:30~20:30(休館日を除く) ・利用内容：インターネットの閲覧のみ
- ・利用料：無料。1回あたり30分まで (18年度利用件数 4,541件)

■ 広報出版事業

1 情報誌「K I A N」 (キャンニュース) の発行

(目的) 協会事業ならびに市内の国際交流活動、ボランティア活動など、市民に国際交流に係わる情報を提供した。

(発行) 年4回(季刊)

(発行部数) 4,000部

(配布先) 各区役所、市民館、図書館など公共施設、市内小中学校、ボランティア、関係団体など

2 国際交流センターだより の発行

(目的) 国際交流センターをより身近な施設としてもらうため、センターの催し物や講座、施設についての情報を発信し、協会及びセンター事業の周知を図った。

(発行) 年12回(月刊)

(発行部数) 3,500枚

(配布先) 各区役所、市民館、図書館など公共施設、中原区住吉地区町内会に回覧、その他関係機関など

■ 研修事業

1 日本語講座の開催

外国人市民等の皆さんの日本語学習を支援するため、段階別クラス編成による少人数の日本語講座を通年にわたり開催した。また、受講生に日本文化等への理解を深めてもらうため、特別講座を開催した。

(1) 日本語講座の開催

(開催講座) 午前コース (10:00~12:00) 年間3期、週2回 (火曜、金曜日)

夜間コース (18:30~20:30) 年間3期、週1回 (水曜)

(講師) 協会登録の日本語ボランティア講師

(受講料) 有料

(場所) 川崎市国際交流センター・会議室

(受講者数) 延べ326名

(2) 特別講座等の開催

受講生に日本文化等への理解を深めてもらうため、特別講座を開催した。

・座禅体験 ・手芸講習会 ・梨もぎ体験 ・茶道体験

(3) 交流会の開催

世界各国の受講生の友好親善と相互理解を図るため、交流会を開催した。

(4) 日本語ボランティア・日本語講座事前研修

①日本語講師登録事前研修の実施

協会日本語講座ボランティアの登録希望者を対象に、模擬授業を中心とした研修を実施した。

(時期) 平成18年12月2日(土)~平成19年3月17日(土)(全12回)

②日本語講座ボランティア研修会の開催

協会登録の日本語講座ボランティアだけでなく、市内の日本語ボランティアを対象に、ボランティア研修会を開催した。

(時期) 平成18年11月25日(土)

2 国際理解講座の開催

市民の国際理解を深めるため、各国事情や時期に即したテーマをもとに、国際理解講座を開催した。

(1) 国際理解講座

18年度は「スポーツと国際交流」をテーマにとりあげ、講座を開催した。

前期：(講座名「サッカーワールドカップの対戦国と開催国について知ろう」)

(延べ 122 名)

テーマ	日程	講師	受講者数
オーストラリア 概論	5/21	関根政美 慶應義塾大学 教授	22 名
オーストラリアと日本	5/28		20 名
クロアチア 概論	6/4	柴 宣弘 東京大学大学院 教授	16 名
クロアチアと日本	6/11		11 名
ブラジル 概論	6/18	武田千香 東京外国語大学 助教授	12 名
ブラジルと日本 —「移民」を中心に—	6/25	高橋幸春ノンフィクションライター	17 名
ドイツ 概論	7/9	中村 亮 外務省総合外交政局 国際平和協力室首席事務官	11 名
ドイツと日本の交流	7/16		13 名

後期：(講座名「世界のスポーツについて知ろう」) 平成 19 年 2 月 24 日

(受講者数：30 名)

国名	種目	講師
ドイツ	バスケットボール	ウォルフガング・オルトマン SEA 埼玉県
モンゴル	バレーボール	大津和範 JICA 国内協力員(青年海外協力隊)
米国	アメリカンフットボール	田中慎一 スポーツ整形外科医
出前講座	2007 アメリカンフットボールワールドカップ 川崎大会	伊藤義樹 審判員

(2) 国際文化理解講座(講座名「音楽でめぐる世界の旅～ヨーロッパからアジアへ」)

音楽を通じて市民の国際理解を深めるため、それぞれの土地で生まれた音楽やその特徴を CD や映像資料で学び、そこで暮らす人々の気質や考え方を理解した。

○夏の旅・ヨーロッパ編

(期日) シリーズ 4 回

平成 18 年 6/14(水)、6/21(水)、7/5(水)、7/12(水) 午後 2 時～3 時 30 分

(講師) 那須田 務氏(洗足学園音楽大学講師、音楽評論家)

(後援等) 後援：「音楽のまちかわさき」推進協議会 協力：洗足学園音楽大学

(会場) 川崎市国際交流センター・ホール

(内容) ドイツ・フランス・イタリアの音楽、文化歴史、モーツァルトの音楽、洗足学園音楽大学学生によるフルート四重奏

(参加者) 延べ 541 名

○冬の旅・ヨーロッパからアジアへ

(時期) シリーズ 4 回

平成 19 年 2/2(金)、2/9(金)、2/16(金)、2/23(金) 午後 2 時～3 時 30 分

(講師) 浦本 裕子氏(洗足学園音楽大学講師)

(後援等) 後援：「音楽のまちかわさき」推進協議会 協力：洗足学園音楽大学
 (会場) 川崎市国際交流センター・ホール
 (内容) ロマ (ジプシー音楽)・トルコ・インドネシアの音楽、口琴のライブ演奏と体験会
 (参加者) 延べ234名

(3) 外国語による国際理解講座

○英語による国際理解講座

英語の歌を題材に、国際理解講座を開催した。

講座内容	日時	講師	受講者数
原詩の学習	12月8日(金)と15日(金) 10:30-12:00	ハリエット・ホクソール 東洋英和女学院中高部 講師	13名
おさらい会	12月22日(金) 10:30-12:00		25名

○中国語による中国理解講座

中級レベルの中国語学習者を対象に、中国語による国際理解講座を開催した。

内容	時期	講師	受講者数
残留孤児の母について	3/17と3/24(全2回) 土曜午後2:00-4:00	協会ボランティア	11名

■ 国際交流促進事業

1 日本語スピーチコンテストの開催

川崎市内の就学生、留学生及び市内の日本語講座の受講生を対象に、スピーチコンテストを開催し、日本人と外国人との相互理解を深めた。

(期日) 平成19年2月17日(土)

(会場) 川崎市国際交流センター・ホール他

(内容) スピーチコンテスト、交流会

(主催等) 主催：川崎市国際交流協会 後援：川崎市教育委員会

協賛：川崎ライオンズクラブ、創作集団にほんご、山下秀男氏

(対象) 日本語を母語としない来日5年以内の外国人の方で、市内の日本語学校、大学、市民館等の日本語講座の受講生

(出場者) 10名

(聴衆参加者) 220名

2 国際文化交流会の開催

(1) 事業名「ルーマニアを知ろう」

市民の国際理解を深めるため、ルーマニア文化を紹介した。

(期日) 平成18年5月7日(日)

(会場) 川崎市国際交流センター・第4・5会議室他

(内容) 地理・歴史・言語・文化(含：民謡・歌・踊り)について
ルーマニア風お菓子と紅茶の提供

(講師) 笠原 コルネリア氏

(参加費) 500円

(参加者) 大人28名 学生3名

(2) 第12回クロコディロスコンサート

ハーバード大学男子学生によるアカペラコンサート。アメリカの音楽文化を通じて、市民の国際理解を深めた。

(期日) 平成18年6月25日(日) 午後3時から

(会場) 川崎市国際交流センター・ホール

(内容) 男声アカペラコンサート

(入場料) 前売り券2,000円 当日券2,500円 中・高校生券1,000円

(参加者) 大人176名 中高生15名

用企画検討委員会」を設置し協議を行った。

- 1 名称 川崎市国際交流センター活用企画検討委員会
- 2 期日 平成19年2月22日(木)
- 3 委員 14名(商店街、町内会、学校、利用者、外国人市民、民間交流団体、国際交流機関、行政)
- 4 協議内容 ○年間協議テーマの決定
 - ・情報ロビーにある検索システム撤去に伴う施設の有効活用について
 - ・その他

■施設維持管理事業

1 施設運営及び維持管理業務

(1) 統括業務

○施設の運営及び維持管理業務が円滑に行えるよう、業務間の調整を行い、職員への教育・指導を行った。

(2) 施設利用受付及び案内業務

○来館者に対するサービスを心がけ、会議室等の鍵の貸出し、利用料の徴収、貸出し備品の管理などの業務を実施した。

○国際交流センターの特性として、来館される外国人市民等の皆さんに対応するため、語学に堪能な職員を配置するとともに、公共施設利用予約システムや各種機器等への説明、接遇について研修を実施し、利用者に快適なサービスを提供するよう努めた。

(3) 施設利用促進業務

○インターネットならびに自治会・町内会、各種サークル団体、学校、地域住民への回覧やチラシによる情報提供を行い効率的、効果的な利用促進を図った。

○国際交流センターホテルとの連携を図り、宿泊に伴う案内や各種事業等の施設利用誘致を図った。

(4) 図書・資料室管理業務

○一般図書の閲覧管理業務のほか、情報文化活動の拠点として様々な情報の収集・分類を行った。

○小学生から高齢者まで幅広い利用者に対し、サービスの提供を行った。

(5) 施設・設備の維持管理及び補修業務

○国際交流センターの施設・設備を総合的に管理し、利用者に対して安全で快適な環境を提供するよう維持管理及び補修業務を行った。

○業務の実施にあたり、中央監視システム及び巡回点検を実施し、諸設備の安全な運転監視及び操作を行うとともに、適切な保守管理を実施して予防保全に努めた。また、異常や異常の予告を事前に察知し、適切な措置を行い、設備の耐久化を行った。

○施設の経年劣化に対応するため、施設・設備の年次補修計画を策定し、効果的かつ経済的な補修を実施した。

○巡回点検により、施設及び設備の劣化状況や異常を的確に把握し、迅速な処理を実施して効果的な管理を行った。

(6) 舞台及びAV機器等維持管理業務

○市民文化の育成と国際文化交流の場として、ホール、レセプションルーム、特別会議室等の舞台装置及び機器類の維持管理を行った。

○業務の実施にあたり、機器の使用説明を行うとともに、適切な操作指導等を行った。

(7) 施設警備業務

○宿泊施設を併設する国際交流センターの事情を考慮し、夜間時の機械警備と連携し一般警備を行い、防犯、防火、防災に努めるとともに、機密の保持に留意した。

(8) 駐車場管理業務

○駐車場内での車両の適切な配置整理を行うとともに、歩行者及び自転車利用者等の安全を図り、事故防止に努めた。また、外路への渋滞回避など快適な利用が出来るよう配慮した。

(9) 設備保守点検業務

○施設機能の低下を防止し、予防保全及び機械・装置の耐久年数を伸ばすとともに、全体の機能が円滑に運用維持されるよう、各設備の定期点検及び法定点検を実施した。

(10) 施設環境衛生業務

○建築物における衛生的環境の確保に関する法律（ビル管法）に基づく環境衛生管理基準に従い、室内環境の維持、飲料水の水質管理及び館内消毒を行い、快適な利用空間を提供した。

○空気環境測定業務 年6回（偶数月）15ポイント 10:00・13:00・15:00

○飲料水水質検査 年2回（3月・9月）全項目（53種類）

○害虫駆除消毒 年2回（3月・9月）

(11) 施設清掃業務

○施設内外を常に清潔で衛生的な状態に保ち、その保全と美観の維持に努めた。

○業務は各施設ごとに材質及び用途に最も適した清掃方法で実施し、利用者の利便性を考慮して、各施設が利用されていない時間帯に適宜に実施した。

○フリースペースであるイベント広場の出入口付近は土砂等で汚損されることが多いため、常に巡回清掃に努めた。

(12) 植栽維持管理業務

○施設周囲の街路樹等を定期的に剪定し、緑溢れる空間の創造に努めた。

○イベント広場などの庭園の雑草を定期的に駆除し、利用者の憩いの場としての環境維持に努めた。

○茶室及び周辺的环境整備に努めるとともに、茶室庭園の維持管理を行った。

2 利用実績

(1) 川崎市国際交流センター来館者数（延べ人数） 159,824人